

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)乙第1732号	氏名	石松 祐二
論文審査担当者		主査教授	高橋晴雄
		副査教授	中園一郎
		副査教授	大園恵幸
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、マクロライド抗菌剤(MCL)のびまん性汎細気管支炎に対する効果の一つの機序として提唱されていたアポトーシスによるリンパ球の除去の可能性を解明するために行われたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 従来の多因子が影響する生体での観察でなく、生体外でMCLのリンパ球に対する効果を直接的に、Annexin V、Fas-Fas ligand系を指標に観察するようデザインし、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、MCLは200 µg/mlの濃度でリンパ球のアポトーシスを有意に抑制することを明らかにし、今後の同分野の研究、日常診療への貢献が期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はMCLのびまん性汎細気管支炎に対する臨床効果の機序の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。